

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スルガ銀行 相模原支店	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区相模原6丁目241-6	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	25 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2015年4月13日
敷地面積	896 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	300 m ²	確認日	2015年4月13日
延床面積	462 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6 ★★★★★</p> <p>S: A: B+: B-: C:</p>	<p>★★★★★</p> <p>30% 60% 80% 100% 100%超:</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 <i>Q</i> のスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 <i>Q1</i> のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 <i>Q2</i> のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) <i>Q3</i> のスコア = 3.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 <i>LR</i> のスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー <i>LR1</i> のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル <i>LR2</i> のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 <i>LR3</i> のスコア = 3.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>本計画は幹線道路沿いに位置する事務所ビルの新築計画である。敷地内に緑化を施し、地域の景観に配慮した施設計画を実施するとともに、駐輪場や駐車場を適切に計画し、地域の交通負荷抑制にも配慮した計画である。</p>		<p>その他</p> <p>・特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラインド、庇を計画している。 全体の70%程度でF の材料を使用。 全館禁煙を実施 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> リフレッシュスペース(食堂)を計画 耐用年数に配慮した内装仕上材を採用。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁面後退による圧迫感低減や植栽による景観配慮を実施。 2階外周部にバルコニーを計画し、中間領域の形成に配慮。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能に配慮した外皮計画としている。 LED照明の採用など設備機器の効率性に配慮している。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要水栓の過半以上に節水型機器を使用。 分別が比較的容易なLGS壁工法やOAフロアを採用。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃焼機器を使用していない。 駐輪・駐車場、管理用駐車場、及び、敷地内の対面通行が可能な計画とし、スムーズな車両通行に配慮。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量で、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される